



■ 私たちの暮らしと化学物質

1. 化学物質への不安
2. 化学物質と環境汚染
3. 化学物質を管理する仕組み
4. 化学物質に関する情報

1. 化学物質への不安

化学物質は私たちの生活を豊かにし、また、便利で快適な毎日の生活を維持するうえで欠かせないものとなっています。現在、原材料や製品などいろいろな形で流通している化学物質は推計で約5万種類といわれていますが、私たちは、意識するしないにかかわらず、日常生活や事業活動において多くの化学物質を利用し、そしてそれらを大気や水、土壌といった環境中に排出しています。

身の回りの化学物質

食品類

- ・安息香酸、ソルビン酸など(保存料)
- ・食用赤色2号など(合成着色料)
- ・残留微量化学物質

農薬・殺虫剤・肥料

- ・パラジクロロベンゼン、フェニトロチオンなど

衣料品

- ・ナイロン、ポリエステルなど(化学繊維)
- ・テトラクロロエチレンなど(ドライクリーニング)

自動車

- ・ベンゼン、トルエンなど

洗剤や化粧品

- ・ヘキサクロロフェン、トリクロサン、パラベンなど(殺菌剤・防腐剤)
- ・LASなど(界面活性剤)

家電製品

- ・PBDEなど(難燃剤)
- ・アルミニウム、鉄など(金属類)

医薬品

- ・アセトアミノフェン、イブプロフェン、テトラサイクリンなど

塗料や接着剤

- ・トルエン、キシレン、ホルムアルデヒドなど
- ・酢酸ビニルなど(接着剤)

環境省が2000(平成12)年度に全国1,500人の環境モニターを対象に行った「化学物質対策に関する意識調査」によると、身の回りに存在するさまざまな化学物質のうち、特に「工場や廃棄物焼却施設などから排出されている化学物質」に対して強い不安を感じている人が多いことがわかります。そのほか「自動車排ガスに含まれている化学物質」や「農薬に使用されている化学物質」、「家庭用品に含まれている化学物質」などに不安を抱いている人がいずれも70%を超えています。一方、「不安は感じていない」と答えた人はわずか0.9%です。

また、なぜ不安に感じるのかという質問に対しては、「有害な化学物質が排出されていることが明らかだから(39.3%)」、「化学物質による影響が報道されているから(25.2%)」といった回答があがっています。

身の回りのどのような化学物質に不安を感じるか

